

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Tremelimumab + Durvalumab + GEM + CDDP療法(short hydration)

3週毎 4コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	day8
イジユド(トレメリブマブ)	75 mg/body	↓	
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓	
ゲムシタビン	1000 or 1250 mg/m ²	↓	↓
シスプラチン	75 mg/m ²	↓	

- 【注意】
- *他剤併用時はトレメリムマブ、デュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 - *トレメリムマブ、デュルバルマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用して投与すること
 - *体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は20 mg/kgとすること
 - *一日の尿量が3000 mL以上になるように調整すること
 - *シスプラチンは遮光のこと
 - *治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液500 mLを1日2本飲水すること
 - *4コース終了後、維持療法(A期)へ移行すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1 抗がん剤投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Capを内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イジユド 75 mg + 生食 100 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)
☆初回は60分間観察、2回目以降は省略可能
◎メインの生食でフラッシュ
- ③ イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)
☆初回は60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能
◎メインの生食でフラッシュ

- ④ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)
 - ⑤ グラニセトロン注3 mg
側管静注
◎メインの生食でフラッシュ
 - ⑥ デキサメタゾン注9.9 mg(3 mL)+生食20 mL
側管静注
◎メインの生食でフラッシュ
 - ⑦ ゲムシタビン + 生食 100 mL
点滴静注30分(200 mL/時間)
◎メインの生食でフラッシュ
 - ⑧ 20%マンニトール 200 mL
点滴静注30分(400 mL/時間)
 - ⑨ シスプラチン + 生食300 mL
点滴静注120分(240 mL/時間)
- *生食200 mLをバッグから前もって抜いておく
- ⑩ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day2,3 アプレピタントカプセル(80 mg)1Cap 1× 朝 内服

day2-4 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

day8

- ① 生食500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン注6.6mg(2mL) + 生食20mL 側管静注
- ③ ゲムシタビン + 生食 100mL 点滴静注30分(200mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	1コース		2コース		3コース		4コース	
	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
イジユド 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
イミフィンジ 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
ゲムシタビン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
確認								